【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和7年4月18日(2025.4.18)

【国際公開番号】WO2022/221726
【公表番号】特表2024-514163(P2024-514163A)
【公表日】令和6年3月28日(2024.3.28)
【年通号数】公開公報(特許)2024-057
【出願番号】特願2023-562872(P2023-562872)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ 35/17(2025.01)
Ａ６１Ｋ 31/5377(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/573(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/45(2006.01)
Ａ６１Ｋ 39/395(2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 35/00(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 15/13(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 15/12(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 15/62(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ 35/17
Ａ６１Ｋ 31/5377 ＺＮＡ
Ａ６１Ｋ 31/573
Ａ６１Ｋ 31/45
Ａ６１Ｋ 39/395 Ｕ
Ａ６１Ｐ 43/00 １２１
Ａ６１Ｐ 35/00
Ｃ１２Ｎ 15/13
Ｃ１２Ｎ 15/12
Ｃ１２Ｎ 15/62 Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和7年4月10日(2025.4.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
多発性骨髄腫を処置する方法に使用するためのＴ細胞製剤を含む治療剤であって、前記方法が、
（ａ）再発したまたは不応性の多発性骨髄腫（Ｒ／Ｒ　ＭＭ）を有する対象に前記Ｔ細胞製剤を投与することであって、前記Ｔ細胞製剤が、ＢＣＭＡに特異的に結合するキメラ抗原受容体（ＣＡＲ）を発現する遺伝子操作されたＴ細胞の用量を含む、投与することと；
（ｂ）免疫調節化合物を前記対象に投与することであって、前記免疫調節化合物が、（Ｓ）－３－［４－（４－モルホリン－４－イルメチル－ベンジルオキシ）－１－オキソ－１，３－ジヒドロ－イソインドール－２－イル］－ピペリジン－２，６－ジオンまたはそ

の薬学的に許容される塩、溶媒和物、水和物、共結晶、クラスレート、もしくは多形体である、投与することと；
（ｃ）デキサメタゾンを前記対象に投与することと
を含む、治療剤。
【請求項２】
多発性骨髄腫を処置する方法に使用するための免疫調節化合物を含む治療剤であって、前記方法が、
（ａ）再発したまたは不応性の多発性骨髄腫（Ｒ／Ｒ　ＭＭ）を有する対象にＴ細胞製剤を投与することであって、前記Ｔ細胞製剤が、ＢＣＭＡに特異的に結合するキメラ抗原受容体（ＣＡＲ）を発現する遺伝子操作されたＴ細胞の用量を含む、投与することと；
（ｂ）前記免疫調節化合物を前記対象に投与することであって、前記免疫調節化合物が、（Ｓ）－３－［４－（４－モルホリン－４－イルメチル－ベンジルオキシ）－１－オキソ－１，３－ジヒドロ－イソインドール－２－イル］－ピペリジン－２，６－ジオンまたはその薬学的に許容される塩、溶媒和物、水和物、共結晶、クラスレート、もしくは多形体である、投与することと；
（ｃ）デキサメタゾンを前記対象に投与することと
を含む、治療剤。
【請求項３】
多発性骨髄腫を処置する方法に使用するためのデキサメタゾンを含む治療剤であって、前記方法が、
（ａ）再発したまたは不応性の多発性骨髄腫（Ｒ／Ｒ　ＭＭ）を有する対象にＴ細胞製剤を投与することであって、前記Ｔ細胞製剤が、ＢＣＭＡに特異的に結合するキメラ抗原受容体（ＣＡＲ）を発現する遺伝子操作されたＴ細胞の用量を含む、投与することと；
（ｂ）免疫調節化合物を前記対象に投与することであって、前記免疫調節化合物が、（Ｓ）－３－［４－（４－モルホリン－４－イルメチル－ベンジルオキシ）－１－オキソ－１，３－ジヒドロ－イソインドール－２－イル］－ピペリジン－２，６－ジオンまたはその薬学的に許容される塩、溶媒和物、水和物、共結晶、クラスレート、もしくは多形体である、投与することと；
（ｃ）デキサメタゾンを前記対象に投与することと
を含む、治療剤。
【請求項４】
多発性骨髄腫を処置する方法に使用するためのＴ細胞製剤、免疫調節化合物、およびデキサメタゾンを含む治療剤であって、前記方法が、再発したまたは不応性の多発性骨髄腫（Ｒ／Ｒ　ＭＭ）を有する対象に前記治療剤を投与することを含み、前記Ｔ細胞製剤が、ＢＣＭＡに特異的に結合するキメラ抗原受容体（ＣＡＲ）を発現する遺伝子操作されたＴ細胞の用量を含み、前記免疫調節化合物が、（Ｓ）－３－［４－（４－モルホリン－４－イルメチル－ベンジルオキシ）－１－オキソ－１，３－ジヒドロ－イソインドール－２－イル］－ピペリジン－２，６－ジオンまたはその薬学的に許容される塩、溶媒和物、水和物、共結晶、クラスレート、もしくは多形体である、治療剤。
【請求項５】
（ａ）前記免疫調節化合物およびデキサメタゾンが、同時的に投与される；および／または
（ｂ）前記免疫調節化合物およびデキサメタゾンが、同じ日に投与される、
請求項１～３のいずれかに記載の治療剤。
【請求項６】
（ａ）前記免疫調節化合物の投与が、前記Ｔ細胞製剤の投与の前に開始される；および／または
（ｂ）前記免疫調節化合物の投与が、前記Ｔ細胞製剤の投与の０～３０日、０～１５日、０～６日、０～９６時間、０～２４時間、０～１２時間、０～６時間、０～２時間、２時間～１５日、２時間～６日、２時間～９６時間、２時間～２４時間、２時間～１２時間

、２時間～６時間、６時間～３０日、６時間～１５日、６時間～６日、６時間～９６時間、６時間～２４時間、６時間～１２時間、１２時間～３０日、１２時間～１５日、１２時間～６日、１２時間～９６時間、１２時間～２４時間、２４時間～３０日、２４時間～１５日、２４時間～６日、２４時間～９６時間、９６時間～３０日、９６時間～１５日、９６時間～６日、６日～３０日、６日～１５日もしくは１５日～３０日前またはそれらの概数に開始される、

請求項１～３のいずれかに記載の治療剤。

【請求項７】

前記免疫調節化合物が、前記Ｔ細胞製剤の投与と同時的に投与される、請求項１～３のいずれかに記載の治療剤。

【請求項８】

（ａ）前記免疫調節化合物の投与が、前記Ｔ細胞製剤の投与の後続で開始される；

（ｂ）前記免疫調節化合物の投与が、前記Ｔ細胞製剤の投与の最大もしくは最大約１日、最大もしくは最大約２日、最大もしくは最大約３日、最大もしくは最大約４日、最大もしくは最大約５日、最大もしくは最大約６日、最大もしくは最大約７日、最大もしくは最大約１２日、最大もしくは最大約１４日、最大もしくは最大約２１日、最大もしくは最大約２４日、最大もしくは最大約２８日、最大もしくは最大約３０日、最大もしくは最大約３５日、最大もしくは最大約４２日、最大もしくは最大約６０日、最大もしくは最大約９０日、最大もしくは最大約１２０日、最大もしくは最大約１８０日、最大もしくは最大約２４０日、最大もしくは最大（ｕｐ）約３６０日または最大もしくは最大約７２０日以上後に開始される；および／または

（ｃ）前記免疫調節化合物の投与が、前記Ｔ細胞製剤の投与の少なくともしくは約少なくとも１日、少なくともしくは約少なくとも２日、少なくともしくは約少なくとも３日、少なくともしくは約少なくとも４日、少なくともしくは約少なくとも５日、少なくともしくは約少なくとも６日、少なくともしくは約少なくとも７日、少なくともしくは約少なくとも８日、少なくともしくは約少なくとも９日、少なくともしくは約少なくとも１０日、少なくともしくは少なくとも約１２日、少なくともしくは約少なくとも１４日、少なくともしくは少なくとも約１５日、少なくともしくは約少なくとも２１日、少なくともしくは少なくとも約２４日、少なくともしくは約少なくとも２８日、少なくともしくは約少なくとも３０日、少なくともしくは約少なくとも３５日または少なくともしくは約少なくとも４２日、少なくともしくは約少なくとも６０日または少なくともしくは約少なくとも９０日後に開始される、

請求項１～３のいずれかに記載の治療剤。

【請求項９】

前記免疫調節化合物が、（Ｓ）－３－［４－（４－モルホリン－４－イルメチル－ベンジルオキシ）－１－オキソ－１，３－ジヒドロ－イソインドール－２－イル］－ピペリジン－２，６－ジオンの薬学的に許容される塩または多形体である、請求項１～４のいずれかに記載の治療剤。

【請求項１０】

前記免疫調節化合物が、（Ｓ）－３－［４－（４－モルホリン－４－イルメチル－ベンジルオキシ）－１－オキソ－１，３－ジヒドロ－イソインドール－２－イル］－ピペリジン－２，６－ジオンである、請求項１～４のいずれかに記載の治療剤。

【請求項１１】

デキサメタゾンが、低用量で投与される、請求項１～４のいずれかに記載の治療剤。

【請求項１２】

前記方法の前に、前記対象が、前記免疫調節化合物を以前に投与されていない、請求項１～４のいずれかに記載の治療剤。

【請求項１３】

多発性骨髄腫を処置する方法に使用するためのＴ細胞製剤を含む治療剤であって、前記方法が、

（ａ）再発したまたは不応性の多発性骨髄腫（Ｒ／Ｒ　ＭＭ）を有する対象に前記Ｔ細胞製剤を投与することであって、前記Ｔ細胞製剤が、ＢＣＭＡに特異的に結合するキメラ抗原受容体（ＣＡＲ）を発現する遺伝子操作されたＴ細胞の用量を含む、投与することと；
（ｂ）前記対象に標準トリプレットレジメンを実施することと
を含む、治療剤。
【請求項１４】
多発性骨髄腫を処置する方法に使用するための、標準トリプレットレジメンに用いるための薬剤を含むキットであって、前記方法が、
（ａ）再発したまたは不応性の多発性骨髄腫（Ｒ／Ｒ　ＭＭ）を有する対象にＴ細胞製剤を投与することであって、前記Ｔ細胞製剤が、ＢＣＭＡに特異的に結合するキメラ抗原受容体（ＣＡＲ）を発現する遺伝子操作されたＴ細胞の用量を含む、投与することと；
（ｂ）前記対象に前記標準トリプレットレジメンを実施することと
を含む、キット。
【請求項１５】
多発性骨髄腫を処置する方法に使用するための、Ｔ細胞製剤および標準トリプレットレジメンに用いるための薬剤を含むキットであって、前記方法が、再発したまたは不応性の多発性骨髄腫（Ｒ／Ｒ　ＭＭ）を有する対象に前記Ｔ細胞製剤を投与することと、前記対象に前記標準トリプレットレジメンを実施することとを含み、前記Ｔ細胞製剤が、ＢＣＭＡに特異的に結合するキメラ抗原受容体（ＣＡＲ）を発現する遺伝子操作されたＴ細胞の用量を含む、キット。
【請求項１６】
多発性骨髄腫を処置する方法に使用するための、標準トリプレットレジメンに用いるための薬剤を含むキットであって、前記方法が、前記標準トリプレットレジメンを、再発したまたは不応性の多発性骨髄腫（Ｒ／Ｒ　ＭＭ）を有する対象に実施することを含み、前記標準トリプレットレジメンが開始される時点において、前記対象が、Ｔ細胞製剤を以前に投与されており、前記Ｔ細胞製剤が、ＢＣＭＡに特異的に結合するキメラ抗原受容体（ＣＡＲ）を発現する遺伝子操作されたＴ細胞の用量を含む、キット。
【請求項１７】
前記標準トリプレットレジメンが、ダラツムマブ、ポマリドミド、およびデキサメタゾンの投与を含む、請求項１３～１６のいずれかに記載の治療剤またはキット。
【請求項１８】
前記方法の前に、前記対象が、ポマリドミドと組み合わせたダラツムマブを以前に投与されていない、請求項１７に記載の治療剤またはキット。
【請求項１９】
前記標準トリプレットレジメンが、ポマリドミド、ボルテゾミブ、およびデキサメタゾンの投与を含む、請求項１３～１６のいずれかに記載の治療剤またはキット。
【請求項２０】
前記方法の前に、前記対象が、ボルテゾミブと組み合わせたポマリドミドを以前に投与されていない、請求項１９に記載の治療剤またはキット。
【請求項２１】
デキサメタゾンが、低用量で投与される、請求項１７に記載の治療剤またはキット。
【請求項２２】
デキサメタゾンが、低用量で投与される、請求項１９に記載の治療剤またはキット。
【請求項２３】
（ａ）前記標準トリプレットレジメンが、前記Ｔ細胞製剤の投与の前に開始される；
（ｂ）前記標準トリプレットレジメンが、前記Ｔ細胞製剤の投与の０～３０日、０～１５日、０～６日、０～９６時間、０～２４時間、０～１２時間、０～６時間、０～２時間、２時間～１５日、２時間～６日、２時間～９６時間、２時間～２４時間、２時間～１２時間、２時間～６時間、６時間～３０日、６時間～１５日、６時間～６日、６時間～９６時間、６時間～２４時間、６時間～１２時間、１２時間～３０日、１２時間～１５日、１

２時間～６日、１２時間～９６時間、１２時間～２４時間、２４時間～３０日、２４時間～１５日、２４時間～６日、２４時間～９６時間、９６時間～３０日、９６時間～１５日、９６時間～６日、６日～３０日、６日～１５日もしくは１５日～３０日前またはそれらの概数に開始される；および／または

（ｃ）前記標準トリプレットレジメンが、前記Ｔ細胞製剤の投与の約９６時間、７２時間、４８時間、２４時間、１２時間、６時間、２時間、または１時間以下前に開始される、

請求項１３または１４に記載の治療剤またはキット。

【請求項２４】

前記標準トリプレットレジメンが、前記Ｔ細胞製剤の投与と同時的に実施される、請求項１３または１４に記載の治療剤またはキット。

【請求項２５】

（ａ）前記標準トリプレットレジメンが、前記Ｔ細胞製剤の投与の後続で開始される；

（ｂ）前記標準トリプレットレジメンが、前記Ｔ細胞製剤の投与の最大もしくは最大約１日、最大もしくは最大約２日、最大もしくは最大約３日、最大もしくは最大約４日、最大もしくは最大約５日、最大もしくは最大約６日、最大もしくは最大約７日、最大もしくは最大約１２日、最大もしくは最大約１４日、最大もしくは最大約２１日、最大もしくは最大約２４日、最大もしくは最大約２８日、最大もしくは最大約３０日、最大もしくは最大約３５日、最大もしくは最大約４２日、最大もしくは最大約６０日、最大もしくは最大約９０日、最大もしくは最大約１２０日、最大もしくは最大約１８０日、最大もしくは最大約２４０日、最大もしくは最大約３６０日または最大もしくは最大約７２０日以上後に開始される；

（ｃ）前記標準トリプレットレジメンが、前記Ｔ細胞製剤の投与の少なくともしくは約少なくとも１日、少なくともしくは約少なくとも２日、少なくともしくは約少なくとも３日、少なくともしくは約少なくとも４日、少なくともしくは約少なくとも５日、少なくともしくは約少なくとも６日、少なくともしくは約少なくとも７日、少なくともしくは約少なくとも８日、少なくともしくは約少なくとも９日、少なくともしくは約少なくとも１０日、少なくともしくは少なくとも約１２日、少なくともしくは約少なくとも１４日、少なくともしくは少なくとも約１５日、少なくともしくは約少なくとも２１日、少なくともしくは少なくとも約２４日、少なくともしくは約少なくとも２８日、少なくともしくは約少なくとも３０日、少なくともしくは約少なくとも３５日または少なくともしくは約少なくとも４２日、少なくともしくは約少なくとも６０日または少なくともしくは約少なくとも９０日後に開始される；および／または

（ｄ）前記標準トリプレットレジメンが、前記Ｔ細胞製剤の投与の１日後～３６０日後、１日後～２４０日後、１日後～１８０日後、１日後～１２０日後、１日後～９０日後、１日後～６０日後、２日後～３６０日後、２日後～２４０日後、２日後～１８０日後、２日後～１２０日後、２日後～９０日後、２日後～６０日後、３日後～３６０日後、３日後～２４０日後、３日後～１８０日後、３日後～１２０日後、３日後～９０日後、３日後～６０日後、４日後～３６０日後、４日後～２４０日後、４日後～１８０日後、４日後～１２０日後、４日後～９０日後、４日後～６０日後、５日後～３６０日後、５日後～２４０日後、５日後～１８０日後、５日後～１２０日後、５日後～９０日後、５日後～６０日後、６日後～３６０日後、６日後～２４０日後、６日後～１８０日後、６日後～１２０日後、６日後～９０日後、６日後～６０日後、７日後～３６０日後、７日後～２４０日後、７日後～１８０日後、７日後～１２０日後、７日後～９０日後、７日後～６０日後、１４日後～３６０日後、１４日後～２４０日後、１４日後～１８０日後、１４日後～１２０日後、１４日後～９０日後、１４日後～６０日後、２１日後～３６０日後、２１日後～２４０日後、２１日後～１８０日後、２１日後～１２０日後、２１日後～９０日後、２１日後～６０日後、２８日後～３６０日後、２８日後～２４０日後、２８日後～１８０日後、２８日後～１２０日後、２８日後～９０日後、２８日後～６０日後、３５日後～３６０日後、３５日後～２４０日後、３５日後～１８０日後、３５日後～１２０日後、３５日後～９０

日後、３５日後～６０日後、４２日後～３６０日後、４２日後～２４０日後、４２日後～１８０日後、４２日後～１２０日後、４２日後～９０日後、４２日後～６０日後、４９日後～３６０日後、４９日後～２４０日後、４９日後～１８０日後、４９日後～１２０日後、４９日後～９０日後もしくは４９日後～６０日後の間またはそれらの概数の間（それぞれ両端を含む）に開始される、請求項１３、１４、および１６のいずれかに記載の治療剤またはキット。

【請求項２６】

前記標準トリプレットレジメンが、前記Ｔ細胞製剤の投与の５６日（８週間）後にまたはその概数の後に開始され、適宜、前記Ｔ細胞製剤が、前記方法の１日目に投与され、前記標準トリプレットレジメンが、前記方法の３カ月目１日目（Ｍ３Ｄ１）にまたはその概数に開始される、請求項１３、１４、および１６のいずれかに記載の治療剤またはキット。

【請求項２７】

（ａ）前記遺伝子操作されたＴ細胞の用量が、5×10^{7}個もしくはその概数のＣＡＲ＋Ｔ細胞～1×10^{9}個もしくはその概数のＣＡＲ＋Ｔ細胞の間または1×10^{8}個もしくはその概数のＣＡＲ＋Ｔ細胞～1×10^{9}個もしくはその概数のＣＡＲ＋Ｔ細胞の間である；および／または

（ｂ）前記遺伝子操作されたＴ細胞の用量が、4.5×10^{8}個またはその概数のＣＡＲ＋Ｔ細胞である、

請求項１～４および１３～１６のいずれかに記載の治療剤またはキット。

【請求項２８】

（ａ）前記方法が、前記対象由来の組織試料における可溶性ＢＣＭＡのレベルを決定することを含まない；

（ｂ）前記方法が、前記対象由来の組織試料におけるインターロイキン－６（ＩＬ－６）のレベルを決定することを含まない；および／または

（ｃ）前記方法が、前記対象由来の組織試料における腫瘍壊死因子アルファ（ＴＮＦα）のレベルを決定することを含まない、

請求項１～４および１３～１６のいずれかに記載の治療剤またはキット。

【請求項２９】

（ａ）前記対象が、約０．５ｇ／ｄＬ以上の血清Ｍタンパク質レベルまたは約２００ｍｇ／２４時間以上の尿Ｍタンパク質レベルを有する；または

（ｂ）前記Ｒ／Ｒ　ＭＭが、血清または尿中に測定可能な疾患を伴わない軽鎖ＭＭである、

請求項１～４および１３～１６のいずれかに記載の治療剤またはキット。

【請求項３０】

前記Ｒ／Ｒ　ＭＭが、血清または尿中に測定可能な疾患を伴わない軽鎖ＭＭであり、前記対象が、約１０ｍｇ／ｄＬ以上の血清免疫グロブリン遊離軽鎖レベルまたは異常な血清免疫グロブリンカッパーラムダ遊離軽鎖比を有する、請求項２９に記載の治療剤またはキット。

【請求項３１】

前記方法の前に、前記対象が、前記Ｒ／Ｒ　ＭＭを処置するための１種または複数の前の療法を受けている、請求項１～４および１３～１６のいずれかに記載の治療剤またはキット。

【請求項３２】

（ａ）前記１種または複数の前の療法が、免疫調節剤を含む；

（ｂ）前記対象が、前記Ｒ／Ｒ　ＭＭを処置するための１～３種の間の前の療法を受けているか、あるいは前記対象が、前記Ｒ／Ｒ　ＭＭを処置するための少なくとも３種の前の療法を受けている；

（ｃ）前記１種または複数の前の療法が、抗ＣＤ３８抗体およびプロテアソーム阻害剤を含む；

（ｄ）前記対象が、前記１種または複数の前の療法に対して再発したかまたは不応性であった；
（ｅ）前記対象が、前記１種または複数の前の療法中にまたはその最後から６カ月以内に進行性疾患（ＰＤ）を示した；
（ｆ）前記対象が、前記１種または複数の前の療法のうち少なくとも１種に対して最小の応答またはより良い状態を示した；および／または
（ｇ）前記１種または複数の前の療法が、同種異系造血幹細胞移植、がんのための遺伝子療法に基づく治療薬、がんのための治験用細胞療法、またはＢＣＭＡ標的化療法を含まない、
請求項３１に記載の治療剤またはキット。
【請求項３３】
（ａ）前記１種または複数の前の療法が、免疫調節剤を含み、前記対象が、前記免疫調節剤の少なくとも２回の連続したサイクルを受けている；および／または
（ｂ）前記１種または複数の前の療法が、抗ＣＤ３８抗体およびプロテアソーム阻害剤を含み、前記対象が、前記抗ＣＤ３８抗体および前記プロテアソーム阻害剤の少なくとも２回の連続したサイクルを受けている、
請求項３２に記載の治療剤またはキット。
【請求項３４】
（ａ）前記Ｔ細胞製剤が、白血球アフェレーシス産物から調製され、前記対象が、白血球アフェレーシスの前１２週間以内に自家幹細胞移植（ＡＳＣＴ）を受けていない；および／または
（ｂ）前記Ｔ細胞製剤が、白血球アフェレーシス産物から調製され、前記対象が、白血球アフェレーシスの前１２カ月以内に自家幹細胞移植（ＡＳＣＴ）を受けていない、
請求項１～４および１３～１６のいずれかに記載の治療剤またはキット。
【請求項３５】
前記対象が、０または１の米国東海岸癌臨床試験グループ（ＥＣＯＧ）パフォーマンスステータスを有する、
請求項１～４および１３～１６のいずれかに記載の治療剤またはキット。
【請求項３６】
前記ＣＡＲが、ＢＣＭＡに結合する抗原結合性ドメインと、膜貫通ドメインと、ＣＤ３－ゼータ（ＣＤ３ζ）鎖を含む細胞内シグナル伝達領域とを含む、請求項１～４および１３～１６のいずれかに記載の治療剤またはキット。
【請求項３７】
前記抗原結合性ドメインが、単鎖可変断片（ｓｃＦｖ）である、請求項３６に記載の治療剤またはキット。
【請求項３８】
（ａ）前記抗原結合性ドメインが、V_HおよびV_L領域を含み、前記V_H領域が、配列番号６２に記載されるＣＤＲ－Ｈ１、配列番号６３に記載されるＣＤＲ－Ｈ２、および配列番号６４に記載されるＣＤＲ－Ｈ３を含み、前記V_L領域が、配列番号６５に記載されるＣＤＲ－Ｌ１、配列番号６６に記載されるＣＤＲ－Ｌ２、および配列番号６７に記載されるＣＤＲ－Ｈ３を含む；
（ｂ）前記抗原結合性ドメインが、
配列番号３０に記載されるアミノ酸の配列、または配列番号３０に対して少なくとも９０％、少なくとも９１％、少なくとも９２％、少なくとも９３％、少なくとも９４％、少なくとも９５％、少なくとも９６％、少なくとも９７％、少なくとも９８％、もしくは少なくとも９９％の配列同一性を示すアミノ酸の配列を有するV_H領域と、
配列番号３１に記載されるアミノ酸の配列、または配列番号３１に対して少なくとも９０％、少なくとも９１％、少なくとも９２％、少なくとも９３％、少なくとも９４％、少なくとも９５％、少なくとも９６％、少なくとも９７％、少なくとも９８％、もしくは少なくとも９９％の配列同一性を示すアミノ酸の配列を有するV_L領域と

を含む；および／または
（ｃ）前記抗原結合性ドメインが、配列番号６８に記載されるアミノ酸の配列、または配列番号６８に対して少なくとも９０％、少なくとも９１％、少なくとも９２％、少なくとも９３％、少なくとも９４％、少なくとも９５％、少なくとも９６％、少なくとも９７％、少なくとも９８％、もしくは少なくとも９９％の配列同一性を示すアミノ酸の配列を有するｓｃＦｖである、
請求項３６に記載の治療剤またはキット。
【請求項３９】
前記細胞内シグナル伝達領域が、共刺激シグナル伝達領域をさらに含む、請求項３６に記載の治療剤またはキット。
【請求項４０】
（ａ）前記共刺激シグナル伝達領域が、ＣＤ２８、４－１ＢＢ、もしくはＩＣＯＳの細胞内シグナル伝達ドメイン、またはそのシグナル伝達部分を含む；
（ｂ）前記共刺激シグナル伝達領域が、４－１ＢＢ、適宜ヒト４－１ＢＢの細胞内シグナル伝達ドメインを含む；および／または
（ｃ）前記共刺激シグナル伝達領域が、前記膜貫通ドメインと、前記ＣＤ３－ゼータ（ＣＤ３ζ）鎖の細胞質シグナル伝達ドメインとの間にある、
請求項３９に記載の治療剤またはキット。
【請求項４１】
（ａ）前記膜貫通ドメインが、ヒトＣＤ８由来の膜貫通ドメインであるかまたはそれを含む；および／または
（ｂ）前記ＣＡＲが、前記抗原結合性ドメインと前記膜貫通ドメインとの間に細胞外スペーサーをさらに含む、
請求項３６に記載の治療剤またはキット。
【請求項４２】
（ａ）前記スペーサーが、５０アミノ酸または約５０アミノ酸～２５０アミノ酸または約２５０アミノ酸の間である；および／または
（ｂ）前記スペーサーが、ＣＤ８ヒンジである、
請求項４１に記載の治療剤またはキット。
【請求項４３】
（ａ）前記ＣＡＲが、配列番号１２６～１７７のいずれか１つに記載される配列、または配列番号１２６～１７７のいずれか１つに対して少なくとも９０％、少なくとも９１％、少なくとも９２％、少なくとも９３％、少なくとも９４％、少なくとも９５％、少なくとも９６％、少なくとも９７％、少なくとも９８％、もしくは少なくとも９９％の配列同一性を示すアミノ酸の配列を有する；および／または
（ｂ）前記ＣＡＲが、配列番号１５２に記載されるアミノ酸の配列、または配列番号１５２に対して少なくとも９０％、少なくとも９１％、少なくとも９２％、少なくとも９３％、少なくとも９４％、少なくとも９５％、少なくとも９６％、少なくとも９７％、少なくとも９８％、もしくは少なくとも９９％の配列同一性を示すアミノ酸の配列を有する、
請求項１～４および１３～１６のいずれかに記載の治療剤またはキット。
【請求項４４】
（ａ）前記Ｔ細胞製剤が、イデカブタゲン・ビクルユーセル細胞を含む；および／または
（ｂ）前記Ｔ細胞製剤が、ＡＢＥＣＭＡ（登録商標）である、
請求項１～４および１３～１６のいずれかに記載の治療剤またはキット。
【請求項４５】
（ａ）前記Ｔ細胞製剤が、シルタカブタゲン・オートルユーセル細胞を含む；および／または
（ｂ）前記Ｔ細胞製剤が、ＣＡＲＶＹＫＴＩ（商標）である、
請求項１～４および１３～１６のいずれかに記載の治療剤またはキット。